

目指せ！世界ジオパーク

本土の皆さん、「あまんぼう」ってご存知ですか？四季折々に姿を変える魅惑の海中世界へと連れて行ってくれる、海士町が誇る海中展望船。それが「あまんぼう」です。

海士町の「あま」と、船の形が魚の「まんぼう」に似ていることから命名されました。どうやら、船内に降りると海面から1・2m下までが展望室になります。おり、ガラス越しに海中を観察できるという、まるで移動式の水族館です。

浦港。航行海域は名所・三郎岩の周辺で、海上の眺めはもちろん抜群ですが、海底も見応えあり。そもそも

本土の皆さん、「あまんぼう」ってご存知ですか？浦港。航行海域は名所・三郎岩の周辺で、海上の眺めはもちろん抜群ですが、海底も見応えあり。そもそも

島根は大規模な火山の噴火によってできた島なので、島活と云ふと岩が転がるダイナミックな光景が広がっています。そしてそれをバ

ーのことで、海鮮バーベキューや散歩、自転車ガイドなど、誰でも気軽に楽しめます。

一方、春イチオシの島活は、夜の隠岐神社まいり。島活とは、海士町の自然や文化を生かした体験メニューのことです。海鮮バーベキューや散歩、自転車ガイドなど、誰でも気軽に楽しめます。「隠岐神社は満開の桜並木が圧巻ですが、知る人ぞ知るマニアックなプラントは、神秘的な夜の参拝。神主さんによる神社案内と竹灯籠の灯りの中での祈り、そして自分でお守りも受けられます」(白鳥さん)。

さらに観光協会の「島宿マネジャー」ことサミー(海士町役場総務課情報政策係 岡本真里菜)は、「春の海士なら岩旅案内人」・白鳥由佳さん。

隠岐魅力UP

「海藻は春が旬なので、6月『ばくばくタイム』で、先日はチヌの大群が寄つてきました！」

ポイントまで約15分かかりますが、その間のお楽しみ

ます。海藻は春が旬なので、6月『ばくばくタイム』で、先日はチヌの大群が寄つてきました！」

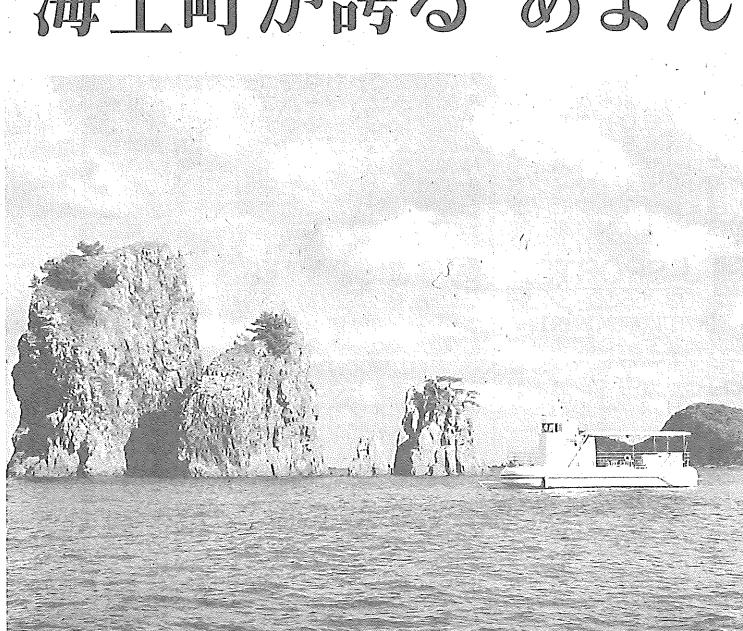
協会スタッフが海士町ワンチクや季節の隠岐ネタを分かりやすく紹介し、乗船客

のみ)の中でも、宿泊客は一日一組限定の人気宿「小崎」(保々見)では、基本プランのほかに「岩がきプラン」を用意。海や野山の春の味覚に加えて、今が旬のブランド岩ガキ「春香」が3個も提供されます。

春の生命力みなぎる大自然にどっぷり浸かり(潜り)、隠岐神社で心スッキリ、宿では「口福」を堪能して元気もチャージ。こんな海士旅、素敵すぎる!

島根

すつせつ ワイドに やよいつページ



海中展望船「あまんぼう」と三郎岩—海士町観光協会提供

「春のあまんぼうは面白いですよ。海中はまさにジヤングルです！」と言うのは、海士町観光協会の「島宿マネジャー」ことサミー(海士町役場総務課情報政策係 岡本真里菜)。

お問い合わせは海士町観光協会(085-14-2-0101)まで、お気軽にどうぞ。